

【主催】 藤前干潟ふれあい事業実行委員会
【協賛】 イオン名古屋茶屋店



田んぼと干潟のつながりとは？
干潟の魅力を知ってみませんか？



◎講師 岐阜大学応用生物学部 准教授
伊藤健吾 さん

◎ファシリテーター
国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター
長澤慎之介 さん

～藤前干潟サイエンスカフェ～

田んぼの研究者が語る 干潟の魅力！

参加
無料



2014年

日時：12月7日(日) 10:00～12:00

場所：稲永ビジターセンター 2階 会議室
(あおなみ線「野跡駅」徒歩15分)

【定員】 40名

【申込み方法】

「参加者氏名・住所・電話番号」を記入の上、
Eメール、はがき、またはFAXにて下記までお申し込みください。

【申込み締め切り】11月25日(火)必着

【問い合わせ・申込み先】

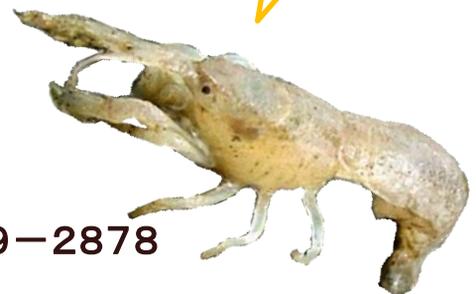
環境省 名古屋自然保護官事務所

〒455-0845 名古屋市港区野跡4-11-2

TEL:052-389-2877 FAX:052-389-2878

Eメールアドレス:WB-NAGOYA@env.go.jp

飲み物付き！



※このチラシは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

■藤前干潟とは

藤前干潟は、大都市名古屋にありながら、渡り鳥や魚、カニなどの多種多様な生きものが生息するかけがえのない場所です。過去には、ごみの処分場として埋立ての危機にありましたが、市民活動によって守られ、今は国指定鳥獣保護区、さらにはラムサール条約登録湿地(※)として保全され、多くの人が自然とふれあう貴重な場所となっています。

(※正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」と言い、干潟をはじめとする湿地の保全に関する国際条約です。藤前干潟は2002年にラムサール条約に登録されました。)



■藤前干潟サイエンスカフェとは

名古屋市が誇る自然である「藤前干潟」の自然の魅力を楽しく知るための場です。生きものや生態系、環境に関する専門家を講師として招き、お話を聞きます。さらに、サイエンスカフェは、講演会等とは異なり、自由に質問もできる場です。分からないことがあればどしどし質問をして、専門家の方とコミュニケーションをとっていただきたいと思います。

過去の藤前干潟サイエンスカフェでは、水族館の飼育員さん、猛禽類や貝の専門家をお招きして、藤前干潟の生きもの、環境について参加者の皆さんが学び合いました。

■今回のテーマ「田んぼの研究者が語る、干潟の魅力！」

今回は、岐阜大学で水田生態系保全を研究されている伊藤健吾さんを講師としてお招きし、田んぼの専門家から見た藤前干潟の魅力をお話しいただきます。泥でできているという共通点を持つ田んぼと干潟の違い、さらには田んぼと干潟の繋がりを知ることを通して、干潟の重要性への理解を深めることができます。

お茶を飲みながら、伊藤先生と楽しくお話をし、干潟について学んでみませんか？

稲永ビジターセンターへのアクセス

(名古屋市港区野跡4-11-2)



○公共交通機関

あおなみ線「野跡駅」から徒歩15分の場所にあります。

○お車で越しの場合

稲永公園の駐車場が利用いただけます。

<問い合わせ先>

環境省 名古屋自然保護官事務所 (担当：野村)

〒455-0845 名古屋市港区野跡4-11-2

TEL: 052-389-2877

FAX: 052-389-2878

Eメールアドレス: WB-NAGOYA@env.go.jp



稲永ビジターセンター

12月7日(日)開催 藤前干潟サイエンスカフェ「田んぼの研究者が語る、藤前干潟の魅力！」

FAX申込書 (FAX: 052-389-2878)

ふりがな	(住所) 〒 -
(名前)	
(同伴者) 有 () 無	(電話番号) ()

申込みは、Eメール、はがき、またはFAXで名古屋自然保護官事務所まで！

※11月25日(火) 必着

定員に満たない場合は継続募集しますのでお問い合わせください。